



Iwate Prefectural Hanamaki Minami Senior High School

岩手県立花巻南高等学校

同窓会報 2018



(発行) 岩手県立花巻南高等学校同窓会 事務局
〒025-0053 岩手県花巻市中北万丁目288番1
TEL(0198)23-4236 FAX(0198)23-4365
URL <http://www2.iwate-ed.jp/hks-h/>
印刷 (株)菊忠印刷



ご挨拶

同窓会長

瓜生 祐子
(高女33回生)

新しい年を迎え、同窓生の皆様をはじめ、関係各位のご多幸を心からお祈り申し上げます。

私が本会の舵取り役を引き受けて17年を迎えますが、今年ほど緊張感を覚えたことはありませんでした。

それはすでに皆様方にお示し致しておりました「新たな県立学校再編計画案」のスケジュールが着々とすすめられ、平成30年10月(今年)に最終決定になるためです。

その事案で不安な気持ちを持ちつつも阻止するための行動について思案の日々でした。そこで1月10日、急遽理事会を開き、その結果ご承認をいただきました。同じ志を有するPTA役員も合同開催となりました。あいにく今冬一番の寒い日であったのに、本当に暖かい皆様の様子に感謝致しました。その内容の一部について説明致します。

◎要望書の文言は。

市内生徒の就学志望や、市民の声を尊重した花巻南高等学校の学級数を維持すること。であります。そして2万人以上のみなさんのお力をいただくように配慮致しました。(署名活動)

以前の第一回目の陳情は平成28年3月に行いましたが、その後偶然ではあったでしょうが、県教委では計画を少々見直しされたようです。

その中味は、原則としては計画に基づき実施するのとありますが、ブロック内の中学校の卒業予定者数や、各校の定員充足状況に大きな変化がある場合は、実施時期の変更も検討することになったようです。

そんなことから、今こそ底力を結集し、署名の成果をあげる時だと思えます。神仏にも祈りをささげ、ご加護をいただき、そしてあき

らめずに行動をしたいと感じています。

会期ごとの集会、市民からのねぎらいの言葉、そして各事業所様の激励など、市民各位の後押しで活動を展開中の現在、いつの日か恩返しのできることを祈りながら挨拶を結びます。



署名簿の集約を行う役員の方々と

ご案内

平成30年度岩手県立花巻南高等学校 同窓会総会

- 日時 平成30年7月1日(日) 午前10時20分より
"7月第1週目の日曜日"
- 会場 花巻温泉 ホテル千秋閣「グレートホール瑞雲」
※総会終了後、懇親会を行います。
- 会費 5,000円 是非お誘い合わせの上、ご参加ください。





ごあいさつ

校長 遠藤 可奈子

同窓生の皆様には、日頃よりご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。平成29年度、本校は創立106年目となりました。お陰様で生徒達は伝統ある花巻南高校生としての誇りを胸に、明るく充実した学校生活を送っております。改めて先輩方の力強いご支援に心から感謝申し上げます。

本校に勤務させていただいて3年目になりましたが、今年も多くの同窓生の皆様とお目にかかる機会がありました。あたたかい激励の言葉をいただき、母校の思い出話を伺って楽しい会話に時間を忘れるひとときでした。高校野球を始め頑張っている生徒達の応援に駆けつけてくださった皆様も多数おられました。本当にありがとうございました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。また県の高校再編計画に係る学級減（平成31年度予定）に関しまし

ても、多くの同窓生の皆様にご心配いただいております。母校の未来に期待し、発展を願う同窓生の皆様の熱い思いを感じ、大変有難く思います。

さて、今年度を振り返って、特に変化を感じていることがあります。様々な用件で来校されるお客様や出先等でお目にかかった方など、行政、医療、福祉を始め様々な分野の方、商工業経営者として活躍される方などから、「私も花南です」と伺う機会が一段と増えたことです。男女とも40歳前後の、まさに働き盛りの若手世代の方々でした。本校は平成3年4月に現在地に移転し男女共学になりましたので、当時の男子生徒も40歳を超えました。今後は、花南同窓生が男女ともに地域のリーダーとして活躍していく時代になることでしよう。最近のところでは、青年会議所の活動で来校された経営者のAさん、Bさ

ら、保健師のCさんや職員員のDさんとお会いしました。盛岡の企業で頑張っている青年Eさんと話していたら、実は本校同窓生だったという出来事もありました。本校でも、同年代の同窓生たちが教員として活躍しています。若手の同窓生男女が地域でリーダーシップを発揮していることを、とても頼もしく誇らしく感じるこの多い一年間でした。本校の未来に明るい展望を与えてくれた多くの出会いに感謝します。

なお、このたび花巻南高等学校65回生（194名）が卒業の日を迎え、新たに同窓会員として仲間入りさせていただきました。ご報告いたします。伝統ある花巻南高校同窓生としての誇りを持つてたくましく生き、自ら輝かしい未来を築き上げてほしいと願っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、同窓生の皆様の一層のご健勝と本校同窓会のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

今年度 同窓会役員

- 副会長 藤 貴 子 (南高 13回生)
- 副会長 藤 洋 子 (南高 14回生)
- 監事 井 牧 子 (南高 22回生)
- 監事 高 睦 子 (南高 25回生)
- 監事 熊 育 子 (南高 28回生)
- 常任理事 菅 沼 ヒ デ (高女 30回生)
- 常任理事 高 橋 昭 三 (南高 2回生)
- 常任理事 小瀬川 陽 子 (南高 5回生)
- 常任理事 千 葉 金 吾 (昭和 35年卒)
- 常任理事 高 橋 勲 (昭和 35年卒)
- 常任理事 葛 卷 久美子 (南高 18回生)
- 常任理事 笹 山 明 (南高 43回生)

平成29年度 同窓会の様子



恩師寄稿

花南の思い出

佐藤義文 副校長
（現盛岡市立高等学校副校長）

県内の伝統校の一つである花巻南高校に平成27年4月から平成29年3月まで、副校長として2年間お世話になりました。私の高校時代の恩師・同級生が勤務した学校に赴任することになり縁を感じながら着任したことをつい先日のことのように感じています。



百年を超える伝統を礎に新しい時代に対応する校風を常に創造し続ける学校に大きな期待と可能性を感じつつ、またその難しさを感じながらの2年間であります。その具体的な方向性について様々な場面で意

見を交わした印象が今でも強く残っています。

「花南」思い出「同窓会」の言葉で私の記憶を検索すると真つ先に平成27年6月の「花南同窓会移動理事会」が浮かんできます。地元花



巻から秋田県仙北市の玉川温泉に場所を移しての理事會に学校を代表して出席・参加させて頂きました。會議では、真剣に同窓会活動について意見が交わされ、私の方からは学校の様子を紹介させて頂きました。

會議後の自由時間では、同窓の友と思い出を語る人。近況を伝え合う人。お湯に浸かり心と身体を癒す人。旅のしるしとしてお土産を買い求める人。笑顔と語らいの多いひと時を一緒に過ごさせて頂いていただきました。私も勧められるがままにお湯に浸かってみましたが、赴任してから数か月の緊張感が一気にほぐれたことを今

でも覚えています。

有意義な時間を過ごした温泉を後に少し遠回りをしての帰路。車窓からまだ残雪が残る八幡平の景色を楽しみ、やがてバスの中に歌声が響き、旅の雰囲気は最高潮に。参加した同窓会の方々の心の若さに圧倒され、同時に母校で過ごした充実した日々を想像せずにはいられない気持ちでいっぱいになりました。同窓生の皆さんの母校に対する思いと期待を感じた瞬間でもあり、私にとって、これから過ごす花南での決意を新たにする一日となったことが鮮明に思い出されます。



そして、私が過ごした2年間で花南生は、日常の学校生活で、各行事で、部活動で、それぞれの節目で、

たくさん表情と風景を見せてくれました。諸先輩方から受け継いだ快活な校風と真剣味のある取り組みの中で見せてくれた一瞬に一人で感動していたことも大切な思い出となっています。



私のこれまでの教員生活で気づくことのなかった感動が日常の学校生活の風景の中にたくさんあることを教えてもらいました。いかに一日が貴重な時間であるか、その日々の積み重ねが将来へ繋がっていくことを改めて感じ取ることができ、少し忘れかけていた原点を思い出させていただきました。

花南で出会った生徒諸君、諸先生方、保護者の皆様、そして、同窓生の皆様と貴重な時間を過ごすことができたことが一番の思い出となっています。こよなく母校を「愛し」、大きな

心で後輩たちを「見守り」。「支える」、瓜生祐子同窓会長をはじめとした多くの同窓生の皆様に接し、心強く感じるとともに勇気を頂

きながら勤務させて頂いたことに心より感謝申し上げます。 これからも「花」のある話題に溢れ、「日本一」の花巻南高等学校同窓会として充実・発展するようご祈念申し上げます。

旧校舎一片を探す

校門右手にある花南会館に時中堂と名付けられた講堂があります。そして旧校舎から使用されている「時中堂」と書かれた木製看板が掲げられています。

時中堂（二歴史）（参照：60周年年史）
・女学校時代の講堂兼体育館の名称が時中堂であった。
・最初の時中堂は明治44年に新築され、昭和44年に解体された。その後新築されたのが旧校舎（花城）の体育館である。
・平成3年に現在地へ本校舎新築移転、花南会館新築（講堂名称：時中堂）

時中堂の命名に関わる経緯

命名の経緯は記録がなく推測の域を出ません。時中の意味もはつきり書かれたものは残っていません。60周年史によると、『おそらく中庸からの命名であろう。中庸の「中」は中和であり庸は用（はたらき）である。天地万物は調和を保つことにより永久の発展を遂げる』（一部抜粋）とあります。どなたに質問しよいか思案した後、尊敬するある方に意味を質問すると、何冊もの花南記念誌を持ってきてくださりそして丁寧にお話ししてくださいました。感謝とともに、自分は時中の意味をここで説明するには全く値しないと再確認できました。我要精進。



看板の作成時期やどなたがお書きになったのかなどの詳細も不明です。もしご存知の際には教えていただければ幸いです。

恩師寄稿

これからも
花巻南高校と
ともに

水上弓枝先生

(現大船渡東高等学校教諭)



昨年11月、内陸在住の知人のもとを訪れる機会がありました。知人との約束までに思いがけず時間ができたため、偶然立ち寄った美容室。少々の疲れもあり、目を閉じて美容師さんの心地よいサービスを満喫しておりました。そろそろ終わりと思う頃になり、それまで黙って手を動かしてくれていた美容師さんから「先生、お元氣ですか？」と静かに声を掛けられました。驚いて目を開き、鏡越しに美容師さんへ視線をむけると、そこには花巻南高校で担任をした生徒の笑顔がありました。花巻南高校を離れて9年。とつさに記憶を呼び戻そうと全力で頭を働

かせるも、瞬時に記憶が戻らないのが残念なところで。立派に美容師となつた生徒が私に「先生から話されたことが今の仕事につながっている」という旨の話をしてくれました。美容室を出て車を運転していると、徐々に当時の記憶がよみがえってきました。その生徒が高校3年生だった6月のある日、担任をしていた私のところへやってきて、進路に関する悩みを話し、それに対して私が話したこととして、当時の会話の内容や生徒の表情がはつきりと思い出され、「今の仕事につながっている」と話してくれた意味がようやく理解できました。おそろく、そう簡単にたどり着いた「今」ではないことも想像でき、「よく頑張ったね・・・」と思わず口にしていました。その数日後、この恩師寄稿のお話をいただき、若輩の身で僭越とは思いましたが、何かの縁とお引き受けした次第です。

花巻南高校へは平成15年から6年間在職し、担任として卒業生を2回送り出すことができました。また、3年間は総務部として同窓会、PTAの皆さまに大変お世話になり、多くを勉強させていただきました。それぞれに思い出深く、忘れられないエピソードが多々あります。

花巻南高校へ転勤して最初の歓迎会では、「同窓会は、圧力団体ではありません」との瓜生同窓会長の挨拶に会場から笑いが起きたことを記憶しています。威厳のなかにもユーモアのある同窓会長の姿に、総務部として、その後幾度となく触れることができました。また、同窓生の方々のお話に耳を澄ましますと「くなはん」という言葉が何とも言えず耳に心地よく、花巻を離れて9年となる今でも私の耳に残っています。忘れることができないのは、花巻温泉の大広間一杯に同窓生が集結する同窓会総会です。あの光景ほど花巻南高校同窓生の力を物語るものはないと、感動にも似た思いを抱きました。団結力とバイタリテイ、この

頼もしい同窓生の姿を何とか在校生にも伝えたいと、授業やホームルームで話題にさせていただくこともありました。当時の生徒たちも社会に出て、同窓生としての誇りを胸に活躍してくれていると思います。

前任校の一関第一高校在職中に東日本大震災が起り、生徒とともに沿岸の復興にかかわる活動に取り組みました。その際、お力添えくださいましたのが宮城大学佐々木久美子教授でした。後に、佐々木教授が花巻南高校の同窓生でいらつしやることを知り、再び花巻南高校との縁を感じることなりしました。沿岸の復興にかかわつたこの活動により、一昨年度文科科学大臣表彰をいただいた際には花巻南高校で担任をした生徒から素敵なお花が届けられ、その心遣いに感激するとともに励まされる思いがしました。

花巻南高校に在職していた当時は、教員としての在り方を自問自答する毎日でした。そのような状況のなかで精一杯話したことが生

徒の「今」につながっていたことを知ったことで、また、私自身が教員として生徒と向き合う姿勢を再確認させられたように思います。在職当時はもちろん、花巻南高校を離れた現在もなお、教えられ、励まされ、支えられていることを感じます。花巻南高校をおしりてかかわつたすべての方々に心よりお礼を申し上げるとともに、花巻南高等学校同窓会の益々のご発展を心より祈念し、寄稿いたします。

母校冬景色
* スナツプ *

校舎の周りを歩いてみました。自転車置き場の氷柱に驚きました。もう少しで地面に届きそうです。同窓生の皆様のなかにも毎日雪かきという方もいらっしゃるかもしれません。ご自愛ください。



定期総会

過去から

未来へつなぐ

立花 和子

(南高12回生)



久し振りに聞く高校時代の友からの電話。その声を聴いて話していると高校生になつている自分である。誘われた嬉しさで思わず「出席します」と返事した。青春を共にした友達に会いたいなど、胸ワクワクさせてその日を待った。52年ぶりなので、姿も顔もおばあさんになりお互いに誰か分かるかなと不安でもあり、ドキドキして当日は千秋閣に着いた。会場は大広間行つて驚き大勢の方、その位時間が経過したと実感。男女共学にもなり、母校の発展を願うばかりである。同じクラスの友達と何から話せばいいのか、どう切り

出そうかと考えていても、口から出る言葉は「懐かしい」の一言。直ぐに昔に戻るのである。垣根がなくて時間そのまま違和感なく戻れるのが同級生である。楽しくアツという間に終わり。多感な年を過ごした南高は、今の自分を創つてくれていたと今頃そう思う。そこでいつもの私の暮らし方を少し話そうと思う。家から徒歩10分で元の遠野市立土洲中学校があり、現在未来創りカレッジになつている。出会いがあつて、たまにそこに関わるこゝとなつた。この歳になり、お墓や年金等の話題が口からでてきているが、これからの遠野市を考える機会に参加した。思いつきり弾けて楽しめる。また、こんな考えもありと脳をフル回転させる。5年後10年後の未来新聞を創る。グループもその度メンバーが変わり、更に弾ける。インスタグラムとかイタシャの意味を30歳イケメンから教えられたりす

る。方言は私の出番「うんだから」という言葉がインパクトがある等と思いがけない声を耳にしたりする。ボケた頭に刺激をして活性化になる。そんな仲間がいて【天空ウエディング】を實行。NHKニュースでご覧になつた方もいらつしやるかと思う。標高800m遠野市高清水展望台でカジュアル結婚式をして学校に戻りお食事会、みんなで余興と手作り満載であつた。その仲間【OSKお節介】カンパニーを創ろうかと検討中である。また、小学校に昔話の語り部として年に3回程指導に行く。昔話は過去の出来事であるが、未来ある子供達に昔話を通して人の生き方を教える機会を頂いた。こうして語り継ぐことで文化を継承していくと思うと語り部は私の生き甲斐になつている。主に伝承園で語っているが、見えない心を言葉で伝え交流することに喜びを見つけたので、この先も続けていきたいと思つている。身体は老化しつつも、頭や口の筋肉は使えば

使うほど滑らかになるので頑張つて使いたい。自分の好きな事に出会えて幸せをかみ締めている日々である。

定期総会に

参加して

伊藤 絵里子

(南高22回生)

やつてきました。

十年に一度の当番幹事、今回で6回目になります。昨年あたりから、「来年は当番幹事なので7月の第一日曜日は、空けておいてね」と同級生に会うたびにお願いをしていました。

みんなに声をかけ集まつたのは6月。さあ何をしましようかとまずは演目を決めながらの楽しい時間。このままおしゃべりで終わりたい気持ちやグツと押えて練習開始。いつもみんなをリードしてくれる我がが応援団長を中心に、動きの確認をしていく。10年前より動けなくなつたなど個々に感じながらも言葉には出さず…。すぐ休憩。それでもみんなといると楽しくて、笑つてばかり、まるで高校

時代に戻つたかのような。何をしてもおもしろおかしい感覚になり、日頃の疲れも忘れるくらいでした。

やつていくうちに色々なアイディアが生まれ、独特な組体操を取り入れた、私達だけのJOH-寿司が完成しました。

♪長生き音頭♪にあまり乗り気ではなかつた人も、フラダンス用のスカートを見ると「私は赤」「黄色」と少女のように衣装を選ぶ姿に大笑い。何事も形からと言いますから…。

当日は受付係もあり、バタバタと時間が過ぎていきました。司会の二人は、衣装も息もピツタリで、みなさんからの無理難題にも笑顔で対応し、どなたもきつと心地良い時間を過ごしたことと思つております。

り切る事ができたので大満足しています。14名で力を合わせ、私達の中では最後の当番幹事を終了しました。60歳の時は温泉に泊まるうという夢はまだ実現できていませんが、いつかきつとね。瓜生会長をはじめ役員の方々がいらつしやり、成り立つ同窓会に感謝の気持ちでいっぱいです。



会員だより

定時制高校の思い出

有原 キミニ

(定時制48年卒旧姓伊藤)

昭和44年4月の入学式の記憶は、今はほとんどありません。当時は普通科と新設された衛生看護科の2クラスがありました。入学当初は普通科が23名、衛生看護科は30名以上いて、とても賑やかだったと記憶しています。

私は普通科に入ったのですが、同級生の職業は多岐にわたりバラエティーにとんでいました。住み込みで働いている人、自動車の整備工、商店の事務、当時最先端の電子関係の部品製造に携わっている方もおり、上級生には白髪の年配の方も数名おりました。

私は入学当時、市内の医院に住み込みで働いていました。早朝から入院病棟や診察室の掃除に始まり、入院患者さんの食事の配膳と一



日があつという間に過ぎていきました。午後5時に仕事を終え、白衣から制服に着替え登校しました。全日制の皆さんが、「さようなら」の挨拶を交わしている中で「おはよう」と言うのは最初、違和感がありました。

現在、まなび学園の南側にある建物(現・花巻中央コミュニケーションセンター)は、かつて定時制用の給食室でした。教室に入る前に給食を摂り、それから授業が始まるのです。

一時間目は睡魔との闘い

でした。居眠りしている人は何人もいました。皆は居眠りの仕方が上手でした。教科書を立ててメモを執っているように眠るのです。先生は見て見ぬ振りをしてくれたと思います。

私は真つ直ぐ前(黒板)を見たまま眠っているのので先生方の目についてしまったようです。ある日、私は担任の先生に職員室に呼びだされました。何も悪い事した覚えはないと思ってい

たら先生が、「仕事が辛いんじゃないか。あまり辛いのなら雇用主さんに話してあげよう」と気づかってくれました。とにかく、あの当時はどうしようもなく眠かったと記憶しています。

一番の思い出は、3年生のときの修学旅行です。奈良・伊勢・京都と周り、清水の舞台にも立ちました。その時初めて新幹線に乗りました。

応援歌練習は嫌いでしたが、応援団の大声が怖くて声が出ませんでした。練習場所がなかったのかどうかわかりませんが、廊下や校舎の屋上で歌った記憶があ

りました。

入学当初23人だったクラスも、東京や北海道の高校からの編入生があつたり、看護師さんが数名転入してきたりして、卒業時は33名になっていました。

卒業後の進路もさまざまです。公務員や牧師になった人、専門学校、大学に進学した人、普通科にいた看護師さんは高等看護学校に進学した人もおりました。

卒業から45年近くになります。皆さんはどのような人生を送っているのでしょうか。

平成29年7月、愛隣館に於て、花南第23回生還暦を祝う会が行われた。出席者は全体の1/4位の60名。欠席の理由は、仕事、家族の介護、孫の世話、自分の体調不良、変更後の住所不明などのようだ。我々世代はまだまだ多忙である。

参加できる幸せを感じ、今日ばかりは背負った荷を下ろし、紺色ジャンパーズカートの女子高生気分を楽しもうと思った。

ハプニングもあつたが、厳かな祈禱を受け、祝賀会が始まった。

先生は4名の出席をいただいた。皆若々しく、お元氣な様子、多くの思い出話を語ってくださった。そして、10年後の会への参加も約束していただいた。

第23回生

ザ・カンレキ

畠 美香

(南高23回生)

安らかな寝息も聞こえる静かな授業中の教室。終業のチャイム、先生の退室とともに明るい女子高生の声

が飛びかう賑やかな教室に。その時の女子高生の如く

明るい声がホテルのロビーに響く。名前は思い出せないが、あのあの…。卒業以来の再会もある。

次々運ばれてくる料理をいただいたり、おしゃべりをしたり、あつという間の2時間だった。2次会を含めても40年を語り合うには時間が足りなかった。寝る前の部屋では健康維持情報

の交換、今後一番大事なこ

に換え、女性として活躍をし、人生の荒波も越えてきた自信あふれる姿は、還暦を迎えさらに輝いて見える。

同級生のピアノ伴奏により「学生時代」など皆で合唱をした。クラスがひとつになって取り組んだ「合唱コンクール」の時のような変わらぬ美声のコーラスとなった。

次々運ばれてくる料理をいただいたり、おしゃべりをしたり、あつという間の2時間だった。2次会を含めても40年を語り合うには時間が足りなかった。寝る前の部屋では健康維持情報

の交換、今後一番大事なこ

に換え、女性として活躍をし、人生の荒波も越えてきた自信あふれる姿は、還暦を迎えさらに輝いて見える。

同級生のピアノ伴奏により「学生時代」など皆で合唱をした。クラスがひとつになって取り組んだ「合唱コンクール」の時のような

変わらぬ美声のコーラスとなった。



とだと頷き合った。

記念品は、校歌を染めた「スペシャル手拭」ピンク色の校章が女子高らしくステキだ。

改めて校歌の詞を読んでみた。きびしい部活の中で明るさを忘れず結果を求め、練習に明け暮れた日々、先生方のご指導により将来

の夢の実現に向けて学んだ日々は詞にあるように、吹く風に負けない健やかな根を育てたと思う。そして40

年、幹も太くなり枝葉も広がった。やはり自分たちの原点がここにあるように思う。

希望に満ちていて、かつ悩み多きあの頃に思いを馳せ還暦という区切りに自分を見つめ直すきっかけとなった会だった。

不慣れなスマホに連絡先を交換し、再会の約束をし、それぞれの「現実」へと家路についた。

昔カッパ、今バツパ

菅原 タ工子

(南高8回生)

当時、クラブ活動の顧問はダットサンとあだ名の

あった中村先生。第8期の新入生中、部員総数8名。言わずと知れた水泳部。春

5月、高総体から始まって、夏、県民大会、秋、東北大会、そして、秋深き頃行

た人だけ行った国体。私の高校生活3年間、水に浸って居た時間の何と貴重だったことか。

2年生になり、月日が流れて3年生になったころにはそれぞれの進む道があつて4名だけ残った同級部員。

高校入学まで私はプールで泳ぐなんてことは夢にさえ思つたこともなく、小学

生の頃は近くの川にワイワイと近所中の子供が集まつて水遊び、中学生になつてからは少し恰好つけて川の

流れに両足を浸して涼む、水との戯れはその程度だったのに何故か2本のしだれ柳さやめく南高校の生徒になつて、突如水泳部。こわ

き先輩講師に叱咤激励される我姿に憐れみを感じたのだろう、手取り足取り水との付き合いを教えてくださいました。そんな明け暮れの

同級生。そんな明け暮れの内で、一年生の時の高総体を思い出します。25メートル

ルも泳げない私が200メートル競技にエントリーし、それでも泳ぎ切った時にプールの両サイドから起きた大

拍手、知らないと言う事はとても幸せな事と後で知り

ましたが、その大拍手は私の健闘を讃えてたつた一人になつても泳ぎ切つた賞賛の拍手。かくしてそれから

3年間、カッパ修行は続きました。その間私は、花巻電鉄で電車通学でした。電車に乗っている間は一切束縛

のない私の時間。様々な本、雑誌等読み漁りました。目を転じてふと見る車窓。流

れてゆく四季折々に繊なす景色はその中に住む者でなくしては知ることの出来ない見事さ。バツパになつて、時折その辺りを散策しますが、

今もやはり自然の織りなす徒然に感動しております。高校生活を終えて、数え

きれない程の時間が過ぎました。その頃のカッパは、2人の孫が小さいときにババといえなくてバツパと呼んでくれた時をそのままに、今も

バツパを謳歌しております。そー、思い出します、あれは3年生の冬、期末試験が

始まつた日は前日から大雪。電車が止まって学校に行けない中学の同級生4人。その頃は電話も普通の家庭では無い時代でしたが、有線

電話という地区内だけで会話が出来る仕組みがあつて、

早朝打ち合わせ、私の兄がカンジキで道を作り電車の通る駅まで送ってもらい辛うじて試験に間に合つた、

そんな事もありました。そして、どうしても忘れられない思い出。2年生の時の運動会に体育の小野先生に教えて頂いたマスケームの桜変奏曲。3年生の

運動会でも踊りたいと別に習つていたゲームを捨てて頑張り通して全員で踊つた

楽しさ、多分校庭に時ならぬ桜が咲いたの？ とぐるりと校庭を囲んでいたポプラの木々は思つたのではな

かるうか。カッパ時代、東北大会等に出かける時に校舎の裏に寄宿舎があつてよくそこに

宿泊しました。朝の早い汽車で大会に出かける時などに寝心地の余り良くない布団でも、おちかけていた壁

に不気味さを感じてもそれはそれで笑いの種。今のよ

うなコンビニがあるわけもない時代、近くのパン屋からジャムパンを買って食べる、そのパンのおいしかった

事、半世紀以上過ぎた時間の中でも当時の乙女達に帰

る事は、その中の全員が今話し合つても難しい事ではないはずで。そして、更に忘れられない事実。寄宿舎の直ぐそばに鈴木万寿教

頭先生の住まいがあつた記憶があります。万寿先生は理科の先生で、様々な科学的な試験をするフラスコを

揺らし白い煙を浮かせながら、「テストは、全員赤点が無いように平等に30点はあげるからね」と話して下さつた。この先生もしかして

「神様」とまで思つた日や思い起こし、とても懐かし

く、あの時は有難う等と呟いてみるのもいいかなと思つております。今回先輩の小瀬川陽子さんの推薦でこんなことを書かせて頂く機会に恵まれ

昔カッパ、今バツパの私は70路半ばの坂を上つたり下つたりしながら、それでも、この生きる旅の最後まで希望

と理想を持ち続ける事を念頭において頑張つております。それが産み育ててくれ

て、父亡き後少しばかりの農業をしながら南高校の門

をくぐらせてくれた母への孝行と思つて。全ての木々は、葉に色を付けて飾り、それを振り落とした瞬間から次の芽を育むそうです。

次の世代に確かな芽を残せるか否かは解らないけれど、今までもそうであつたように、どんな寒空の下でも雪が消え春になれば花が

咲くことを信じて、春夏秋冬、夜は月を愛で、昼は花に心を偲ばせながら縁あつて結びついた夫と共にこの

先も生きて行く。幸いにも丈夫な体に支えられて。60年の月日を超えて、花

巻南高校の生徒であつたことに感謝し、また、卒業生としての誇りをもつて常に新しい明日を迎えたいものと思つております。



支部だより

東京支部

監事

平賀俊通

(定時制湯口分校 昭和34年卒)
 平成29年度の同窓会東京支部総会親睦会は、4月9日(日)上野精養軒にて開催されました。桜の開花宣言が早かった上野公園は満開になり、年一回の再会となりました。



総会準備に当たり、役員会、理事会を開催し、課題である会員数及び参加者の増加、支部の活性化を図る等について検討し取り組んでまいりましたが、高齢に伴う退会、若年層の入会、総会参加を願うも

の現実には難しく年々減少にあり、また、輪番制当番の呼びかけに対し引き受け手が無く、役員が分担する事になりました。



当日は母校から学校長遠藤可奈子様、同窓会長瓜生祐子様、同窓会副会長佐藤貴子様、同窓会事務局佐藤一様様をご来賓としてお迎えし、同窓生は都内はもとより、関東地方、多方面に及び、再会を喜び、旧交を温め、古里の思い出を語り合う場として

進められ、今年のアトラクションは見送り、初の試みであったが、参加者全員で作るトークで親睦を深め、先輩の思い出話等、盛会に開催。最後に全員で、沼田育子理



事(南高23回生)ピアノ伴奏で、校歌を斉唱し、高校時代を思い出し熱気が冷めやらぬ中、皆様のご協力により、無事に総会が終了した事に、感謝致します。

平成30年度の総会は、4月8日(日)を予定しております。上野公園での再会を楽しみにお待ちしております。

盛岡支部

副支部長

森田泰子

(南高12回生)

平成29年度盛岡支部総会並びに懇親会は、10月29日(日)午前11時よりサンセール盛岡において開催されました。

当日は、雨模様の中、本校から遠藤可奈子校長先生、事務局佐藤陽子先生、同窓会長瓜生祐子様、常任理事小瀬川陽子様、葛巻久美子様をご来賓としてお迎えし、総勢97名参加の会となりました。

総会では、校長先生から、生徒が軽い気持ちで投稿した動画が「いじめ」との誤解報道を招いた出来事を受けて、全校でネット社会における機器利用の仕方について学びを深めたこと、その後、生徒は意欲的に学習や部活動に取り組み成果を挙げている旨の話があり、嬉しくお聞きしました。



今回、会則の一部改正が行なわれました。支部発足以来「臨時総会」開催の要が無かったことから、「通常総会」「臨時総会」の文言を取り、「総会」のみの表記とすることを提案し承認されました。

懇親会に際しご挨拶に立たれた同窓会長瓜生様は、県立高校再編計画の中に母校の1学級減が示されており、同窓会として、今まで以上に力を

合わせて規模維持に向けた活動を推進し、母校の発展に尽していきたいという熱い思いを力強くお話されました。

会食時には、久しぶりの再会に会話が弾み、会場は和やかな空気に包まれました。

午後は余興を楽しみました。静と動が調和した花架拳の演技、張りのある伸びやかな歌声のカラオケ「川の流れるように」は共に素晴らしい、参加者を引きつけました。その後は、全員参加の活動です。軽体操で楽しく体を動かし、

ご来賓のリードで「花南讃歌」を歌い、ゲーム「ズバリ当てましょう」では、テーブル毎に頭を寄せ合って考え、大いに盛り上がりました。身も心もリラックスしたところで、会場いっぱい輪になって「同



窓会音頭」を踊り、最後に心一つに「校歌」を歌いあげました。次第に皆の心がかさなり、花南同窓生としての思いが深まっていくようでした。

今回、懇親会担当の22回生が少人数だったため、21回生が積極的に協力を買って出て共に企画運営に当たり、会を盛り上げてくれました。11月11日に行った引継ぎ会時にも、21・22回生の明るく前向きな姿勢が光りました。今後の支部活動の力として心強く感じています。

北上支部

事務局

関根恵理

(南高24回生)

私は昭和60年から北上の住人になりましたが、同窓会に参加する事になったのは、平成18年頃だったと記憶しております。それまでは、同窓会という響きに全く知らない世界に足を踏み入れるような畏怖の念さえ抱いていました。

また、役員会に初めて参加をした時の印象として残っているのは、高女の先輩の言われた「花南高女の誇りを持ちなさい。」という言葉でした。

24回生の中で取り立てて取り得もなく卒業した私にとって、先輩方の人生の軌跡は素晴らしい、正に学びを裏にし、その自信に満ち溢れているのが直に伝わる感じがしたのを今でも思い出します。

そんな私も、今年選暦を迎えます。あの頃からすでに12、3年の月日が流れましたが、先輩の勢いはほとんど変わらない気がします。「生きる姿勢」物事に取り組み積極的な姿は、決して年齢とは関係がないですね。そんな出逢いを与えて頂いた同窓会を今後も若い後輩達を引き入れて継続して行く為に協力してくれる人員を探さなくてはなりません。

選暦を迎え、仕事から離れ



でも、今度は親の介護やら地域の役、体力作り、習い事など誰も忙しく、同窓会に参加して見ようというメンバーは同じ顔ぶれになりがちです。恐らく、どちらの支部でも抱えている問題かと思えます。

参加を促す為に、強制されなくとも、自主的に参加したくなる様な講演テーマを探し、楽しく、有意義な会の運営を心掛けなければと思います。

今年度の北上支部総会は、次の様に予定しております。

一、日時
平成30年6月24日(日)

一、会場
ホテルシテイプラザ北上

一、講演(案)
北上市を知る。

今年度は懇親会担当学年は21・22・23回生の3学年の皆様をお願いしております。

毎回担当学年の皆様には趣向を凝らした進行により会を盛り上げて頂いておりますが、3学年で担当するのは今回が初ですので、大変とは思いますが、つい期待で胸がワクワクしております。

今回の講演テーマは、安藤宣子支部長が、北上市の担当者から様々な北上市の秘話

や南部工業団地の経緯が現在入っている企業の説明を聞かれ、大変感動され私達にも聞かせてあげたいという思いで提案を下されたものです。

講師の方や詳しい内容はまだ決定しておりませんが、自分達の住む市や町について、意外に知らない事がたくさんあります。それを知る事はとても興味深い事なので、是非今回の総会は例年以上の参加で開催が実現できる様、伝達の方法も横の学年に対しては、今まで以上に密にしようと思っております。

今後は他支部の方々の活動にももつと興味を寄せ、ご指導を頂きながら、末長い支部の継続と繁栄を実現していければと願っています。

東和支部

熊谷洋子
(南高16回生)

東和支部では、主な事業の一つとして「米寿」を迎えられた方に御祝い品を贈呈しております。高校の先輩として、また、人生の先輩として長年ご苦労を重ねてこられた方々に、敬意を表する意味も込め

てささやかなものをお渡ししております。高女卒業の方々なので現在の高校生活とはだいぶ時代の差が、言葉の端々に感じられます。

写真はその中の一部ですが、やはり、女性です。笑顔・お色気・身だしなみ・88歳といえまだまだ乙女に見えませんか？

東和支部の定期総会は隔年なので、平成30年は総会の年です。高女の方々にも多く参加頂いて昔話に花を咲かせて楽しんで貰えるように、そして若い方々にも沢山の参加を願って準備中です。



平成29年度

同窓会事務局日誌

平成29年

4月7日(金) 入学式 本校体育館

4月9日(日) 東京支部総会 上野精養軒

4月中旬 会計監査 本校会議室

4月24日(月) 常任理事会 花龍

5月20日(土) 理事会・総会準備会

7月2日(日) 定期総会 ホテルグランシエール花巻

7月21日(金) 全国大会出場激励費授与式 花巻温泉ホテル千秋閣

10月29日(日) 盛岡支部総会 サンセール盛岡 本校会議室

11月1日(水) 会報編集委員会 まなび学園

平成30年

1月22日(月) 会報編集委員会 まなび学園

2月28日(水) 同窓会人会式 本校体育館

3月1日(木) 卒業式 本校体育館

3月1日(水) 会報第35号発行

3月27日(火) 表彰者を祝う会並びに送別の宴 渡り温泉さつき

員稿 役寄

たまげた(回想)

菅沼 ヒデ

(高女30回生)

幸寿越え吾れしみじみと

此処に在り

のでした。

「よくやったもんだ。」

あまり役にも立たない
役員を何十年続けたこと
か今思えば申し訳ない気
持ちがします。昔理事会
の席上、私の発言で女の

同級生にも賛助出演し
てもらい、柳こうりの中に
小豆を入れて「ザザー」
と海を表現し、お月さま
や松は二日がかりで作
りました。

「よくやったもんだ。」

先生の気分を悪くして退
席して外に出ました。若
い理事の方が止めてくれ
ましたが足が止まらず家
路へと向かいました。

去年の同窓会で私を
知っている若い人達が
寄ってきて「しばらくで
す。お元気で何よりです。」

「まんず、お若いごど、な
んぼになつておでエン
す。」

創立100周年記念事業の記
念誌についての会議があ
り、その時意見を申し上
げたけれども取り上げら
れませんでした。その時
は退席しない。

「えー」「髪も黒いし〇〇歳
とは思えませぬね」私は
にんまりと笑顔を見せた
ものの、かつらと見破ら
れないうちに「ほんじゃ
あ、又ね」とその場を去
つた。

同窓会二部の方には長
い事出演しました。中で
も「金色夜叉」はすばら
しかった。セリフの入っ
た曲で、私、お宮を演じ
ました。蹴られて「よ、よ、」
と泣くシーンはまさに役
者同然と自画自賛したも

「あー、年をとるとそう
いうものかなあ」と
思うことが一つありまし
た。テレビで見たことな
らだけ敬老会で取材を

受けたおばあさん「おら
はあ、楽しみは喰うごど
ど、寝るごどだんチャー」
命を守る一番大切なこと
を答えていました。私は
「おらもほんだ」とは答え
たくない。

「何故か」

「目出度くもあり、目出
度くもなし」ある有名な
作家が書いていました。
幸寿を越えたらそろそろ
エンマ様の許可証を貰え
るように心を整えないと
星の光る世界には行けな
いと思っています。

天網恢恢
疎にして漏らさず

昔、父はよく話してい
ました。この期に及んで
感銘深く受け止めていき
たいと思います。

さて、同窓会はええも
んです。一時の癒しには
なるし、人生の栄養剤で
す。明るく賑やかに楽し
くこの伝統を発展させ、
さすが南校という名を広
めてもらいたい一心です。

員稿 役寄

花南同窓会の

伝統とパワー

監事 照井 牧子

(南高22回生)

私が初めて定期総会に
参加したのは、20年程前
でした。定期総会の当番
という事で、学年理事
から近隣にいる同級生に
声がかけられ、15人程集
まりました。それはクラ
スやクラブ等の繋がりで
集まったメンバーでした。
学生当時はあまり話すこ
ともなかった同級生でも、
同じ学舎、同じ時を過ご
した仲間であり、集まっ
てみれば学生時代にタイ
ムスリップし、懐かしさ
がこみ上げてきました。

そして昨年と3回当番を
経験し、そのたびに同級
生と顔を合わせ、楽しい
思い出となりました。

どの学年も当番になる
と、メンバー集めで大変
だと思えます。もし同窓
会総会への誘いの連絡が
あったら、同級生との再
会、そして先輩、後輩と
一同に会する場としてと
らえていただければ楽し
く参加できるのではない
かと思えます。

同窓会総会がどのよう
なものか分からないまま
参加した当日も無事楽し
く終わることができまし
た。ただただ、高女時代
の先輩のパワーに圧倒さ
された総会デビューで
した。それから10年後、

学年の理事、幹事の把握
についてです。連絡の取
れない学年の理事、幹事
がいる場合、そのままに
せず、同学年の同窓生を
通して繰り返し連絡を取
る努力をし、組織として
機能するように配慮して
いることです。これが花
南の同窓会の力になって

いるのではないかと思
いました。もし皆様のお宅
に役員から連絡が入った
ときには、相談ののつて
ご協力いただければさい
わいです。

総会の最後に次回の当
番である4つの学年の代
表が登壇して、次の総会
に向けたメッセージを述
べる場面がありました。
最後に、花南が男女共学
になってから初めて当番
になった同窓生代表の男
性数人が、「頑張ります！
期待してください！」と
力強くあいさつしてくれ、
頼もしく感じました。

伝統を築いてきた先輩
とパワー溢れる後輩との
力で、平成30年度の総会
が盛会に開催されること
を願っております。



文芸作品

エクレール

上田 テイ子
(高女35回生)

私は、女学校3年生15歳の時終戦。そして17歳で師範学校に入学し、寄宿舎で生活しました。

今から70年も前のことです。

寄宿舎は大きな一室に3年生、1年生9人ぐらいで寝起きしていました。幸い高女の同級生細川妙さんと同室で「あのなはん妙ちゃん…。」と話していると、「なはんはいけません。」と叱られていました。

ある時上級生の方々が窓際に集まって小声で歌を歌っていました。それは明るくてうきうきするようなステキな歌で聞き惚れてしまいました。

その歌はこんな歌詞だったような気がします。

♪ お菓子の好きなパリ娘

二人揃えばいいそと

角の菓子屋へ

ボンジュール

奢る間も遅しエクレール

腰も掛けずに

むしやむしやと

食べて口拭くパリ娘

残るなかばは手に持つて

行くは並木か公園か

空は五月のみずあさぎ

人が見ようと笑おうと

小うたまじりに

かじりゆく

ラ・マルチヌの

銅像の肩で燕の宙返り

♪

いつの間にか1年生の私たちもそばに行つて口まねをしていました。

いい歌だな！ エクレー

ルつてどんなお菓子なんだろう？ 終戦後の食糧難の

時代で、パリのお菓子なんて想像もできません。でも

あれやこれやと想像すると、唾が出て来ておなかも

グーと鳴りました。

それから4年程たった春日の日、ゆうき屋菓子店をのぞいたら『エクレー』という文字が飛び込んで来まし

た。このお菓子がもしやエクレール？

両手を広げてボンジュール！ と行きたかったのですが「ごめんください」とお店に入つてそのお菓子を

観察しました。シュークリームを細長くしてチョコレートをかけた焼菓子です。長いから残るなかばは手に持つてます。間違いないこれがエクレールだ。とうとう見つけたよ。私はドキドキしながら2個買いました。心の中で大親友の妙ちゃんに話しかけました。「妙ちゃんエクレール見つけたよ！」でも私達は師範学校を卒業し、遠く離れた学校に就職していたのです。2個のエクレールは、

岩手公園（今は盛岡城跡公園）の広場のベンチに座つて一人で食べました。こんなおいしいお菓子はこの後もお目にかかつていません。最高のお菓子でした。空を見上げると、雲一つなくきれいな青空でした。

朝の散歩道から

朝倉 千里
(南高10回生)

(南高10回生)

20年以上も続いている朝の散歩。4時半起床、5時

〜6時約1時間程歩く。約

束した訳でもなし、二人三

人四人と、たわいないお

しゃべりをし、大笑い、今

日の料理に花が咲いたり、

話題にこと欠かない。そし

て四季折々の移ろいを眺

め、燃えるような朝焼けに

感動したり、太陽に自然に

頭を下げ、日々歩いており

ます。最近では老健施設の

前を通ると窓際に車イスに

すわっている方が、私達の

集団を見つめるやいなや、

立ち上がり手を振るので

す。今では両手、万歳スタ

イルでお互いにパワーをも

らつたり、与えているので

はと自己満足。

雪道は危険なので自分の

間休みです。でも私は出来

るだけ顔を出すようにして

おります。だつてじつと窓

際を見て待つている人がい

るんですもの。私の姿を見

ると、にこにこして、朝の

挨拶です。手作りの手話で

窓ごしのコミュニケーション。自分自身も気持ちが高

ぶり、楽しくなるのです。

そして今日一日がどんな日

になるか、今迄寝ていた分

を、早起きし、その分歩く

のだから誰にも迷惑を掛け

る訳でもなし、日常の生活

を乱す事もなく、寝ぼうで

もしようものなら一日が乱

れてしまうのです。目覚ま

しをかけるのでもなく、不

思議に時間にパツと目がさ

めるのです。

こうしていつ迄健康で歩

けるのかなあと思う事もあ

りますが、とにかく健康で

今日一日を大事にし、何事

も前向きに挑戦したいもの

です。

とにかく「歩く」という

事、日々実感し継続してお

ります。

先生方におかれましては

生徒さん方のご指導のかわ

ら、花南同窓会事務局に

お力添えをいただき本当に

ありがとうございます。改

めてお礼申し上げます。

最後に、同窓会の皆様

ご健勝で、ワンダフルな年

になりますようご祈念申し

上げます。

南高65回生 幹事紹介

【学年代表幹事】

5組 八重樫 拓斗



同窓会を少しでも盛り上げられるよう責任を持って頑張ります。

【各クラス幹事】

1組 小原 翔



みんなが楽しめる同窓会にできるよ

1組 本堂 桜花



幹事として、楽しい同窓会にできるよ

2組 佐々木 奈菜



みんなが楽しめるよう頑張りたいと思います。

2組 照井 あみ



楽しい同窓会にできるよ

3組 加畑 智聡



楽しい同窓会にしたい。

3組 照井 ふみ香



連絡係の仕事をし、楽しい同窓会にします！

4組 小田島 啓太



幹事として精一杯頑張ります。

4組 福岡 南菜



同窓会に参加し、楽しい同窓会にします。

5組 小原 奈月



みんなが集まる楽しい同窓会にします。

平成29年度

進路合格状況

母校だより

1 進学受験状況

9割近くの生徒諸君が進学を希望し、進学校として躍進しています。推薦入試では、国公立大学から、専門学校まで、147名の生徒が受験に挑みました。結果は以下のとおりとなり、昨年同様良い結果を残すことができました。

●主な合格先

(平成30年2月9日現在)

〈国立大学〉

- 北海道教育大(1) 岩手大(2) 名寄市立大(1) 岩手県立大(3) 宮城大(2)

〈私立大学〉

- 盛岡大(6) 岩手医科大(3) 富士大(2) 東北学院大(3) 尚絅学院大(2) 東北福祉大(2) 東北文化学園大(3) 東京女子体育大(1) 日本女子体育大(1) 東海大(2) 東京経済大(1) 杏林大(1) 関西外語大(1) 等

〈短期大学〉

- 岩手県立盛岡短大部(1) 修紅短大(1) 仙台青葉学院短大(3) 青森中央短大(1) 聖和短大(1)

新渡戸文化短大(1)

〈医療系専門学校〉

- 国立仙台医療センター附属仙台看護助産学校(1) 岩手リハビリテーション学院(3) 花巻高等看護専門学校(4) 岩手看護専門学校(1) 盛岡看護医療大学校(2) 福島病院付属看護学校(1) 東北保健医療専門学校(1)

●主な内定先

(平成30年2月6日現在)

- 花巻農業協同組合(2) 花巻温泉(1) 優香苑(1) TDK秋田(3) 東北佐竹製作所(1) TSD(1) 岩手ホテルアンドリゾート(1) 小専スーパードオセン(1) 東和仁寿会(1) 感謝の心(1) 美松堂(1) アミノ化学工業(1) クリアー(1)

2 就職内定状況

民間就職希望者は16名で、全員が決定しています。公務員は岩手県職員1名、自衛官1名候補になりました。早朝課外や面接練習に熱心に臨むなど、取り組みは立派でした。これから社会人として、それぞれの職場での活躍を期待しています。





部活動の記録



学校行事の記録

国際交流 (海外ホームステイ研修)

昨年度は、韓国コース、ドイツコースへそれぞれ7名、様々なプログラムを通じて、異文化交流を図りました。10名と多くの生徒を海外に派遣することができました。

1. 韓国コース

派遣期間 平成29年3月17日(金)～3月21日(火)
派遣場所 韓国 安養外国語高等学校
参加生徒 2年7名



安養外国語学校にて記念写真撮影
ご訪問を歓迎致します



安養外国語高校の授業を体験



ホストと一緒に韓服も着てみました



昌徳宮・景福宮の離宮。庭園も素晴しかったです

2. ドイツコース

派遣期間 平成29年3月24日(金)～4月1日(土)
派遣場所 ドイツ ヴァイアホフ高等学校
参加生徒 1年3名 2年7名



ヴァイアホフ高校で日本語を選択している生徒と授業に参加



けん玉など日本の遊びを教えました



ホスト生徒とハイデルベルクへ遠足



ハイデルベルクの町並み

編集後記

高橋 昭三

卒業アルバム(一九五五)

先日、故あって、アルバムを開く機会が有り、これを奇貨として、以下思うところ3点について、述べて見ます。

一、応援団リーダー

団旗を囲んだ四人のうち、二人が残念乍ら、鬼籍に入ってしまった。

往時、全校生徒を前にして旗を振っていたことに思いを致す時、懐かしさがこみ上げて参ります。

二、クラブ活動

本来は、軟式庭球部でした

が、他からの求めにに応じて夫々、顔を出しておりました。

曰く、理科二部、軟式庭球部、珠算同好会等々、多少軽卒の誹りは免れないものの、今となつては、楽しい思い出となつております。

三、寄せ書き

種々考えた揚句、「八勝七敗」としました。

これは、韓信の「背水の陣」そのものであり正に後なしの境地でした。

然して、良く卒業させて頂いたものと、今更乍ら感無量のものがあります。

本紙作成に、快く原稿依頼に応じて下さった方々に感謝いたしております。どうも有難うございました。

編集委員長

高橋 昭三 (南2)

編集委員

小瀬川陽子 (南5)

佐藤 貴子 (南13)

本館 博子 (南15)

照井 重美 (南16)

清水意久子 (南16)

葛巻久美子 (南18)

佐藤 仁実 (南37)

戸来 誠 (南41)

事務局

佐藤 陽子 (南23教諭)

佐藤 一枝 (南42教諭)

